

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岸和田市公共下水道整備計画（防災・安全）														
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)											重点配分対象の該当			
交付対象	岸和田市														
計画の目標	総合的な下水道事業の継続を進め、安心安全な市民生活の確保を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		1,970	A	1,965	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0.25	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ H27当初 ）	（ H29末 ）	（ H31末 ）
1	ポンプ設備更新率を30%（ H27 ） から70%（ H31 ） に向上させる。			
	ポンプ設備更新率（ % ）	30%	48%	70%
	更新済ポンプ設備（ 台 ） / 更新対象ポンプ設備（ 33台 ）			
2	ポンプ場、処理場施設の耐震化率を0%（ H27 ） から40%（ H31 ） に向上させる。			
	ポンプ場、処理場施設の耐震化率（ % ）	0%	20%	40%
	耐震化施設（ 箇所 ） / ポンプ場・処理場（ 5箇所 ）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 雨水）	新設	流域関連北部処理区 雨 水管渠整備事業	雨水管 φ450～1350 L=1,4 00m	岸和田市	■	■	■	■	■	370	-	-
	A07-002	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	終末処 理場	改築	磯ノ上下水処理場施設更 新	機械設備・電気設備改築	岸和田市	■	■				223	-	策定済
		下水道長寿命化計画、種別1は他にポンプ場を含む																	
	A07-003	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	改築	下野町下水ポンプ場施設 更新	機械設備・電気設備改築	岸和田市	■	■				182	-	策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-004	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	改築	大北下水ポンプ場施設更 新	機械設備・電気設備改築	岸和田市			■	■	■	253	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	改築	人孔蓋取替	老朽化人孔蓋取替工事	岸和田市			■	■	■	0	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は他に管渠（汚水）、管渠（雨水）を含む																	
A07-006	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	改築	管渠施設更新	合流管 φ800～2000 L=1,000 m	岸和田市	■	■				43	-	策定済	
	下水道長寿命化計画																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	改築	長寿命化計画策定	点検・調査・計画策定	岸和田市	■	■				13	-	策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-008	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	新設	合流式下水道改善事業	事後評価業務	岸和田市		■				10	-	-
	A07-009	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	改築	ストックマネジメント計 画	計画策定	岸和田市		■				15	-	-
		種別1は、他に管渠（汚水）、管渠（雨水）を含む																	
	A07-010	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	終末処 理場	改築	磯ノ上下水処理場施設更 新	機械設備・電気設備改築	岸和田市			■	■	■	415	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別1は他にポンプ場を含む																	
	A07-011	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	改築	下野町下水ポンプ場施設 更新	機械設備・電気設備改築	岸和田市			■	■	■	158	-	策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
A07-012	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 合流）	改築	管渠施設更新	合流管φ800～2000 L=1,000 m	岸和田市			■	■	■	98	-	策定済	
	下水道ストックマネジメント計画																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-013	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	改築	天の川下水ポンプ場施設 更新	機械設備・電気設備改築	岸和田市			■	■	■	42	-	策定済
	下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-014	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	ポンプ 場	-	施設耐震化事業	耐震診断・耐震化工事	岸和田市		■	■	■	■	143	-	-
												小計						1,965	
											合計						1,965		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	-	新設	内水ハザードマップ作成	内水ハザードマップ作成	岸和田市	■					5	-	-	
		基幹事業（A07-001）で実施する雨水整備と併せて、ソフト対策として住民の自助意識・防災意識を高め、浸水被害の軽減を図る。																		
												小計						5		
											合計						5			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その検証結果を基に今後の方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験者等を有する第三者による運営審議会に意見を求めた。	令和4年2月
	公表の方法
	岸和田市のホームページ上で公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ポンプ設備の改築により更新率が52%と向上し、施設の耐震化事業により耐震化率が40%になり安全安心な市民生活の確保に貢献した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	雨水管整備により令和元年度末の整備済み面積は平成27年度比より9ha増となり1,284haになった。 雨水管整備により整備率が46.5%になった。 計算式 整備済み面積（ha）/事業計画面積（ha）
○特記事項（今後の方針等）	
今後も、総合的な下水道事業の継続を進め、安全安心な市民生活の確保を図っていきます。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	70%	十分な予算を確保することが出来ず、当初の目標値を達成することができませんでした。今後については、継続して施設の維持管理を徹底するとともに、限られた予算のなかで、より効率的に更新事業を進められるよう計画の精度の向上に努めます。
	最 終 実績値	52%	
2			
	最 終 目標値	40%	目標値を達成した。
	最 終 実績値	40%	